

環境に優しい

人に優しい

建物に優しい

天然石 ・ タイル

# 床 の防滑・防汚 セラグリーンコーティング

建築物のエントランス等に使用されている天然石やタイルなどの床材は水に濡れると滑りやすくなる危険性があります。

セラグリーンを塗布すると表面の摩擦抵抗係数が上がり、防滑効果を発揮するだけでなく、防汚効果を高めポリッシャーによる定期的な洗剤洗浄が不要となり長期間にわたって意匠性を維持することができます。

株式会社 グリーンドゥ

人と地球にやさしい

Green do<sup>®</sup>

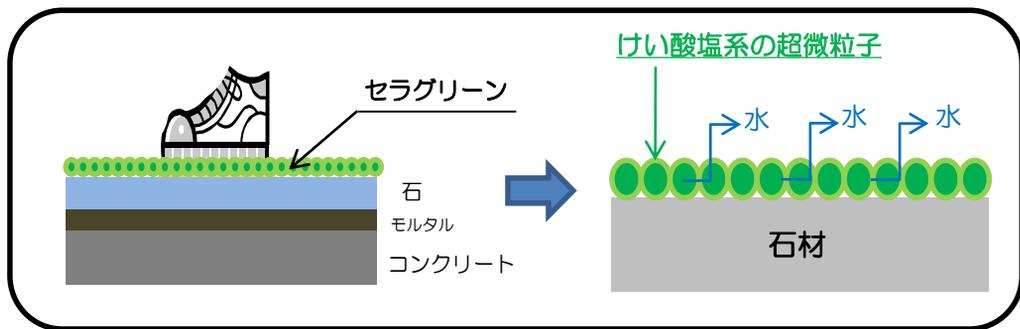
# セラグリーンの床面コーティング塗膜の特徴

## 1、意匠性を変えない

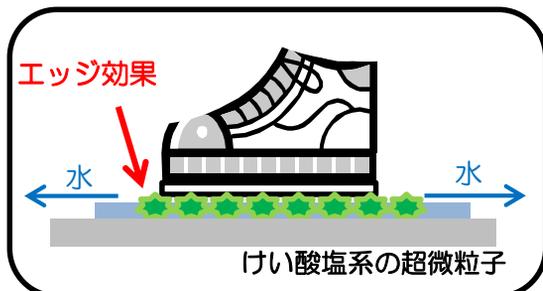
塗布後の比較対比でも塗布してある事がほとんど解りません。  
濡れ色になったり艶が出たり又、みがきの石材では艶が消えたりする事が殆どありません。

## 2、「防滑」と「防汚」の同時処理

他のコーティング剤では不可能に近い防滑と防汚の両機能を同時に実現します。  
天然石本磨きの床面が水滴が付いても滑らず、人通りの多いところでの石材表面の摩耗による艶引け(人道)も出来にくく、初期の意匠性を長期間(10年以上)持続します。



※けい酸塩系の超微粒子の隙間を通して押し付けられた水が周囲に逃げるので、  
ハイドロプレーニング現象のような滑りやすい状況を避けることができます。



### 【定期清掃費用の削減】(参考)

- ホール床の洗浄とワックス掛けは1~2か月に一度程度定期的に行われており、週に最低一度は汚れのモップ清掃と雨天の日は水切りと汚れ取りを日に数回行わねばなりません。人件費と材料費は10年の累計でも、「セラグリー」塗布の数十倍以上になります。

# セラグリーンの防滑試験データ

～兵庫県立工業技術センター～

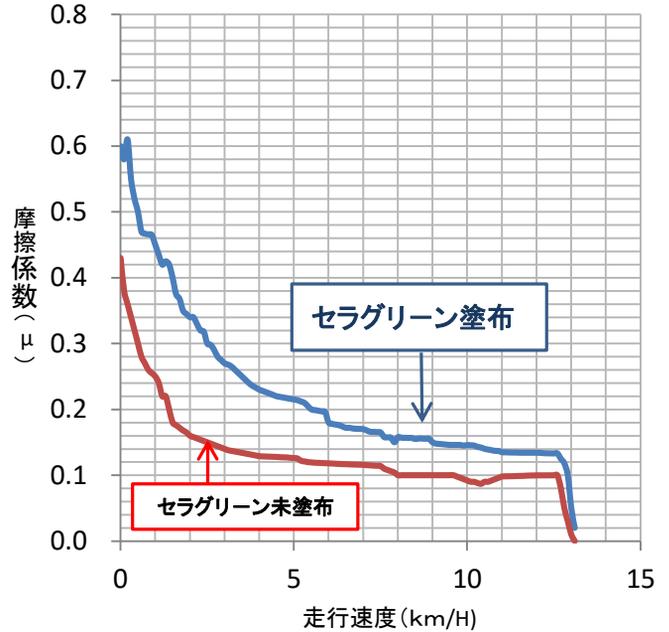
## 防滑試験データ

試験場所： 兵庫県立工業技術センター  
 試験体： 御影石（本磨き）ウエット状態  
 使用機器： DFテスター（サニー工研製）  
 使用ゴム： シューズ用合成ゴム（硬め）

### 【考 察】

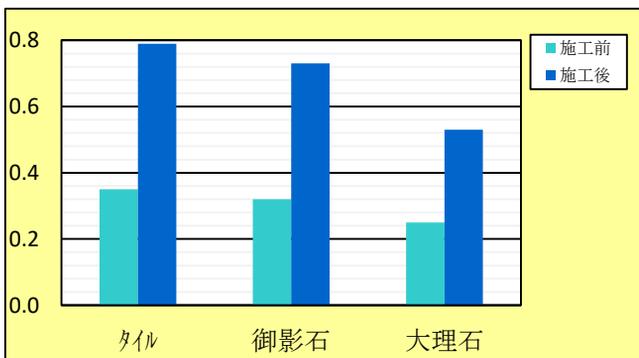
一般的には摩擦係数**0.2以上**では滑らない。  
 セラグリーンを塗布した試験体②では、水に濡れた状態で時速6kmで摩擦係数が0.2以下で滑る心配がない。普通の歩行速度は大人で4km/時速で安全が確保される。

※「兵庫県立工業技術センター」



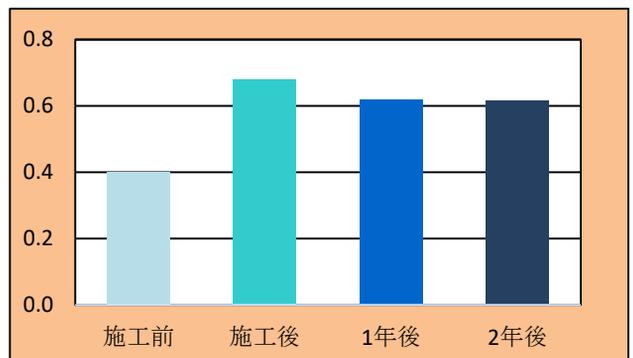
## 基材別の防滑数値

各床材の施工前後の静止摩擦係数測定値



## 経時の防滑数値

施工物件の静止摩擦係数測定値



※素地の種類・産地などで数値は異なります。

### 追跡調査概要◆

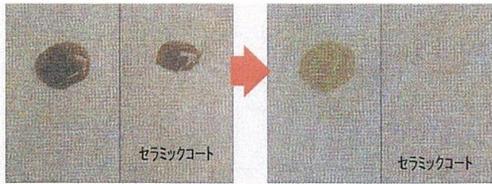
物件名 : 某私鉄 駅舎  
 下地 : 御影石（本磨き）  
 乗降人員 : 2003年度 21,128人/日  
 2004年度 21,056人/日

# 各種石材へのセラグリーン防汚テスト結果

～(株)グリーンドゥ内にて実施～

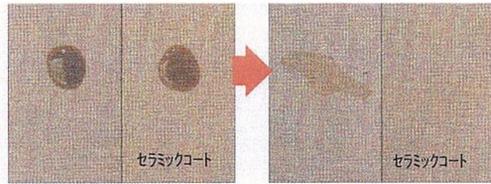
※汚れはコーヒー・ソース類です～

## ●砂岩(カンチャンリス)でのテスト



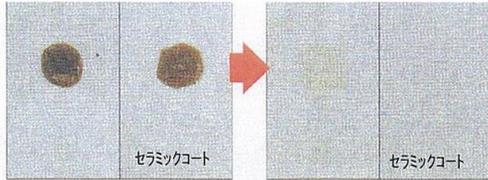
※1時間放置し、拭き取ります。

## ●テラコッタ(エステラ)でのテスト



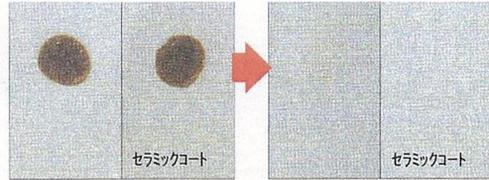
※1時間放置し、拭き取ります。

## ●天然大理石(ピアンコカラ)でのテスト



※1時間放置し、拭き取ります。

## ●天然大理石(タスポワイト)でのテスト



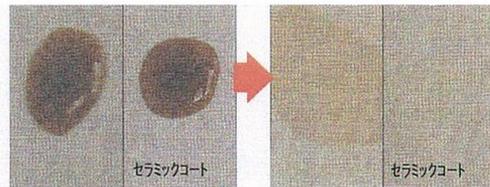
※1時間放置し、拭き取ります。

## ●セメント系壁・床材(アバエ)でのテスト



※1時間放置し、拭き取ります。

## ●ライトムン(モカクリム)でのテスト



※1時間放置し、拭き取ります。

# セラグリーンコーティング施工事例

みなとみらい線元町中華街駅(新築)



2004年施工

大田区役所1Fロビー・大理石床(リニューアル)



2000年施工

# セラグリーンによる防滑・防汚施工手順

## 施工手順

清掃 / 養生

施工部分を清掃し、マスキングテープ、ポリフィルム、ブルーシート等により養生を行う。

高圧水洗浄

ポリッシャー洗浄

高圧水洗浄により泥、埃、塵などを洗い流す。  
電動ポリッシャー（刷毛、スコッチブライト）により表面に塗布された「ワックス」「コート剤」等を除去する。剥離の状況を見て、酸性液・洗浄液等を使用する。

自然乾燥

洗浄・拭き取り後十分に（5～6時間）乾燥させる。

<セラ5000-92>

セラミックスコート剤塗布

3～5分程度攪拌して均一な分散液にし、ローラーにて塗布した後コーティング剤が乾燥する前にウエスにて丁寧に拭き上げる。  
\*基材の吸い込み状況によりIPA（イソプロピルアルコール）で1:1に希釈して使用する。

自然乾燥

コーティング後は5～6時間乾燥させる。  
乾燥中はバリケード等により歩行を禁止し、水の浸入等についても十分に配慮する。

高速ポリッシャー

本磨き床材に適用、バーナー仕上げは原則不要

目視検査

目視にて塗りむら、塗り残し等の有無を再度確認する。

完成

5～6時間で歩行可能となる。

## 防滑防汚セラミックスコーティング処理床のメンテナンス・清掃について

使用されている床材 : 天然石本磨き、水磨き、バーナー仕上、各種床用タイルに  
防滑防汚処理透明セラミックスコーティング剤を施してあります。

### 注意

焼成品ではありませんので、強い摩擦や角のある硬いもので押し付けると深く傷が入ったり、表面のセラミックスが破損し、石材基地やタイル施釉面が露出してしまいコーティングの効果も無くなってしまいます。

### 【日常の清掃に関するお願い】

- 1) 天然石表層及び各種床用タイル面に防滑防汚セラミックスコートを施してあるので電動ポリッシャーによるブラシ洗浄は絶対にしないで下さい。
- 2) 汚れはセラミックスコーティングがガードしますので日常の清掃は固く絞った雑巾またはモップによる拭き取りのみとして下さい。定期的な大規模清掃とワックス掛けは必要ありません。
- 3) 水雑巾の拭き取りで落ちない汚れは家庭用の中性洗剤を30～50倍の水で希釈した液でスポンジやタワシを使い汚れ部分のみを軽くこすり汚れを落とし、(力を入れて強く押し付けて何度もこすらない)後、水雑巾で拭き取って下さい。
- 4) 溶剤(アルコール、シンナー類)及び塩素系洗浄剤(サンポール、ハイター等)及び業務用の洗剤等は絶対に使用しないでください。
- 5) サンドペーパーやスコッチブライトは表面の処理剤が削られて防滑防汚機能が低下してしまいますので使用しないで下さい。
- 6) 静電気防止と水が溜まった時の滑り防止機能を持ち合わせている為に「ワックス」(水性、固形共に)は使用しないで下さい。「ワックス」をかけるとかえって汚れが付着し目立つ事になります。